

継続事業評価シート

評価実施日 令和2年3月31日

令和元年度(3年目)

事業コード	23	事業名	組織のあり方検討事業			戦略コード	3	戦略名	事業者が主役の商工会		
担当部名	総務部	担当課名	総務・人材育成課	担当課長名	市井 仁	施策コード	12	施策名	トップマネジメント力の強化		

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

現状では、商工会や県連の組織運営や事業推進、地域振興等について事務局主導で行われており、役員の参画が課題となっている。

2. 事業のねらい

事務局主導の執行体制を改善し、役職員がそれぞれの役割を果たし、事業者と地域の発展に寄与する組織の実現を目指す。

3. これまでの評価結果

過年度	H29	A	H30	A	R1		R2	
-----	-----	---	-----	---	----	--	----	--

組織が抱える重要課題に対して、役員会による幅広い議論を経た決議につながっている。

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

役員会において活発な議論が行われ、迅速な意思決定ができるよう、引き続き課題を検討していく。

【取組評価】

取組コード	取組	実績	必要性	有効性	効率性	総合評価
54	役員会の運営方法の改善	県連各種委員会等を廃止し、役員会を中心とした議論を行うことで、これまで以上に的確・迅速な組織判断ができるようになった。	a	a	a	A
55	各種組織の整理	県連役員定数の現状と定数削減した場合のメリット・デメリットを検証する等、定数見直しの議論を行った。	a	a	a	A
56	総(代)会・役員会への参加促進	事務局総轄者会議等において、出席状況(出席率)や出席率向上に向けた各商工会の取組について共有した。	a	c	a	B

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

取組コード	56					取組コード	56					取組コード					
指標名	総(代)会・役員会の本人出席率					指標名	役員会出席率					指標名					
年度	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標	50%	55%	60%	65%	70%	目標	68%	70%	72%	75%	80%	目標					
実績	37%	41%	33%			実績	86%	83%	78%			実績					
達成率	74%	75%	55%			達成率	126%	119%	108%			達成率					
達成度	c	c	c			達成度	a	a	a			達成度					

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性 【取組評価】の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) **a**

〈評価の理由〉

無駄を省いた効率的な組織体制の確立と全役員による幅広い議論による議決は、組織力の強化には必要不可欠である。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況 【取組評価】の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) **b**

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

県連役員会において、定数適正化に向けた検証を行った。また、当初の計画通り、各委員会等の見直しを行っており、概ね順調に推移している。

【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)縮減のための取組状況 【取組評価】の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) **a**

〈コスト縮減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

委員会機能が集約され、コスト(事務負担等)の縮減に寄与している。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(改善が必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 **B**

組織が抱える重要課題に対して、役員が積極的に関わりを持ち、活発な議論により組織としての意思決定を行うことにつながった。

3. 課題

今後は、各商工会における役員会の出席率を向上させる取組を行うことが課題となる。

4. 今後の対応方針(改善点)

役員セミナーによる役員会の組織運営への参画意識の醸成を図るとともに、組織運営上の課題を検証していく。